

「国立新美術館の管理・運営業務」の評価（案）の概要

1. 事業概要

事業内容：「国立新美術館の管理・運営業務」

実施期間：平成25年4月1日から平成28年3月31日までの3年間

応札者数：1者

2. 事業実施に関する評価

- 確保されるべき質として設定された以下の項目を全て達成している。
 - ・ 包括的な質
 - ① 継続性・安定性の確保

美術館の一時的閉館や開館不能の状態を招くような重大な業務上の瑕疵の発生 0回
 - ② 信頼性の確保

美術館運営に重要な影響を与える業務上の瑕疵による事象（作品の損傷・紛失、人身事故等）の発生 0回
 - ・ 個別業務の質
 - ① 館内及び外構清掃業務

施設が清潔な環境に保たれていること。
アンケートによる観客の「清掃状況」の不満足度 5%以下
 - ② 植栽管理業務

視覚的、衛生的に適切な植栽管理がなされていること。
アンケートによる観客の「植栽管理」の不満足度 5%以下
 - ③ 会場管理業務

館内での会場管理業務（看視、応対等）が適切に行われていること。
アンケートによる観客の「会場管理業務」の不満足度 5%以下
 - ④ 警備業務

館内での警備業務が適切に行われていること。
アンケートによる観客の「警備業務」の不満足度 5%以下
 - ⑤ 総括評価

個別業務が年間を通じて適切に行われていること。
アンケートによる観客の「総括評価」の不満足度 13%以下
- 創意工夫に関しても、民間事業者が詳細なエネルギーの使用量と室内環境の把握を行い、省エネルギー対策に生かすなどの取り組みを行い、その結果、平成25年度使用電気量が232,300kWh（▲2.1%）、平成26年度使用ガス量が73,881m³（▲6.7%）と削減された。更に、危機管理や自衛消防訓練の実施、計画的な看視体制や誘導、観客の安全確保等多くの改善が実施され、良好に業務が実施された。

3. 実施経費に関する評価

本事業の実施経費については、単年度当たり426,359千円であり、従来の実施経費（単年度当たり471,454千円：市場化テスト実施直前の平成24年4月～25年3月）と比べて、45,095千円（9.6%）の経費が削減されている。

4. 今後の事業

本事業は、実施状況が良好であり、経費も削減されているが、一者応札となっていることから、次期事業についても引き続き民間競争入札を実施することが適当と考えられる。

なお、次期事業の実施に際しては、入札説明書の説明の見直し等、競争性の改善に向けた取り組みに留意することが必要である。